allcinema

# 復讐の谷（1951）

VENGEANCE VALLEY

**メディア** 映画
**ジャンル** 西部劇
**製作国** アメリカ
**時間** 82分
**初公開日** 1957/11/20
**公開情報** ＭＧＭ

**【解説】**

ストロビー牧場の経営者アーチに幼い頃拾われた孤児のオーウェンは、彼の息子リーのよき遊び相手兼後見役、また、牧童頭として見事期待に応えていた。リーは甘やかされて育ち、ギャンブル好きで甲斐性がなかったが、美しく聡明なジェーン（ドルー）と出会い結ばれて変わった、と自認していた。しかし、彼女の前につきあっていたリリー（フォレスト）を妊娠させた件ではまたもオーウェンに尻ぬぐいをさせ、彼に多大な迷惑をかけた。リリーの二人の兄たち（Ｊ・アイアランド、Ｈ・オブライエン）が彼を敵と付け狙っていたのだ。が、ジェーンは夫の告白を待たずとも、そのあやまちを察知しており、その無責任さを強くなじるのだった。オーウェンは以前から秘かに彼女を慕っていたが、今や彼女もその気持ちを汲み始めていた。これを妬んだリーは、父に共同経営を承諾させ、春になって運ぶ牛の売買の契約を勝手に決め、リリーの兄弟を間接的に自分のキャラバンに雇って、オーウェンの命を担わせるのだが……。すねたドラ息子は自家薬籠中のＲ・ウォーカー（「見知らぬ乗客」）がうまく役にハマって、彼の魅力でみせるような所もあるリアリズム西部劇で、傍役たちの顔ぶれもいい。Ｒ・ソープの演出は、ただ何となく握っている－－という感じの箇所が目立ってあまり感心しないが、山を挟んで東と西に分かれて牛を運ぶ筋立ての面白さは買える。オーウェンの責任感のありようも実感を込めて描かれ、これもランカスターの得意とする役どころだろう。ちなみに、ティム・ロス主演の秀作「リトル・オデッサ」の冒頭、彼の弟役のエドワード・ファーロングが場末の名画座で観ている一編として、そのラスト・シーンが印象的に引用されていた。

**【クレジット】**

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | リチャード・ソープ | Richard Thorpe |
| **製作** | ニコラス・ネイファック | Nicholas Nayfack |
| **原作** | ルーク・ショート | Luke Short |
| **脚本** | アーヴィング・ラヴェッチ | Irving Ravetch |
| **撮影** | ジョージ・Ｊ・フォルシー | George J. Folsey |
| **音楽** | ルドルフ・Ｇ・コップ | Rudolph G. Kopp |
| **出演** | バート・ランカスター | Burt Lancaster |
| | ロバート・ウォーカー | Robert Walker |
| | ジョン・アイアランド | John Ireland |
| | ジョーン・ドルー | Joanne Dru |
| | サリー・フォレスト | Sally Forrest |
| | ヒュー・オブライアン | Hugh O'Brian |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.